



# かんたん解説

# 浄土宗のこと知ってるかい？



私たち浄土宗教師や寺院の活動は、新型コロナウイルス感染症をはじめ、さまざまな事情から「浄土宗」のことを伝える機会が激減しています。こんな時こそ、浄土宗のことを知ってもらえることのできる施本があったらいいでしょうか。平易でさらっと読め、誰にも気兼ねなく差し上げられるような施本を、教化団の企画のもと作成しました。

◎お通夜や葬儀にお参りの方々への施本として      ◎檀信徒の次世代の子や孫さんに

◎お彼岸、お十夜、行事の施本として

◎五重相伝、授戒会、帰敬式の副読本として

さまざまな用途に、ご利用いただけます。しかも一部30円という気軽に配布できる価格におさえました。どうぞまずは、お試しにご購入下さい。

※尚、発送の利便性の関係上、100部単位のご購入をおすすめしております。

※尚、本書は、東京教区教化団の企画のもと、東京教区玉川組浄桂院住職・伊藤弘道上人が執筆し、教化団理事が編集、東京教区の教化事業の一環として制作されたものです。



サイズ 182×128mm



全7ページ。やさしい解説。  
小さなサイズで、  
気軽にお使いいただけます。

## -もくじ-

- 阿弥陀さまとお釈迦さま  
～浄土宗で信仰する仏さま
- 浄土宗と法然さま  
～浄土宗は、法然さまが創られた宗派
- 浄土宗のお通夜とお葬儀  
～なぜお通夜と葬儀をするの？

浄土宗で信仰する仏さま

阿弥陀さまも、お釈迦さまも共に仏さまであり、仏とは悟りを開いた方をさします。

お釈迦さまは、今からおよそ2500年前、悟りを開いて仏となり、多くの人々を救うために教えを説かれました。その教えが仏教であります。その教えの中でお釈迦さまは、「私よりも遠い遠い昔に悟りを開き、今現在も人々に救いの手をさしのべている仏さまが西のはるか彼方の世界にいらつしやる。自分の力で、修行をすることが出来ない者は、その方に救いを求めなさい」と説き教えられました。そのお方こそが阿弥陀さまなのです。

お釈迦さまは、迷いや苦しみが多いこの世界から「この世での命を終えた後は、あちら側(極楽浄土)を目指しなさい」とすすめてくれる仏さま、そして阿弥陀さまは「私が必ず迎えてあげるから、こちらへ来なさい」と救いの手をさしのべてくれる仏さまであります。